

重点課題

【課題1】 目的に応じ、文章と図表を結び付けて必要な情報を見付ける。(C 読むこと ウ) 正答率 20.8% 無解答はいなかったが、条件2つのうち1つしか満たしていない児童が75%。

【課題2】 文の中における修飾と被修飾との関係を捉える。((1) 言葉の特徴や使い方に関する事項) 正答率 29.2% すぐ下の言葉を選択していた児童が37.5%。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

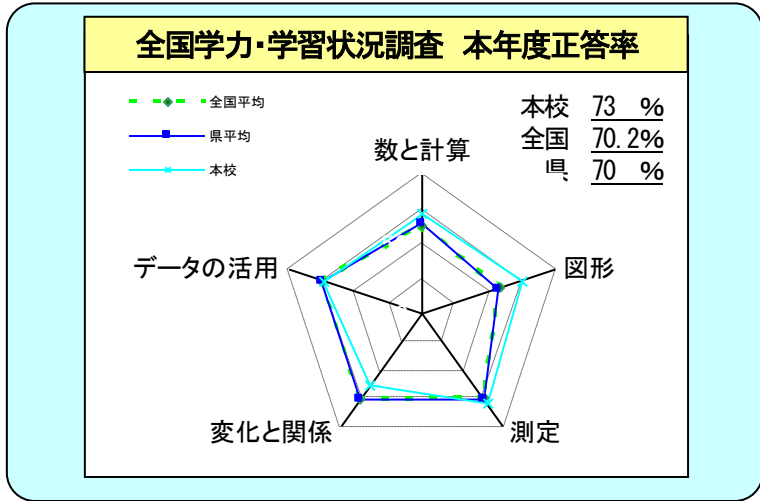
【課題1】 目的に応じて、複数の資料から必要な情報を選び、条件に沿ってまとめる力を付ける。文章から読み取るだけでなく、図表から分かることも文章化して説明する等の活動を設定する。国語科で付けた力を他教科等でも活用していく。

【課題2】 日々の授業で、ことばの使い方に着目させるような学習活動を仕組む。

※ 小中一貫した取組については、複数の文章や資料等を結び付けて必要な情報を見付ける活動を設定する。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3～5年生 説明文単元テスト			4・5年生 標準学力調査	5年生 R3「全国学力」	4・5年生 学年末テスト (思判表)
目標値		85%			70%	65%	85%
実施後数値							
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3・4年生 修飾語テスト (自校作成)			4・5年生 標準学力調査	5年生 R3「全国学力」	4・5年生 学年末テスト (知技)
目標値		85%			70%	65%	85%
実施後数値							

来年度に向けて



重点課題

【課題1】 二つの速さを求める式の意味について、速さを求める除法の式と商の意味を理解する。(設問1(3)) 変化と関係
数字だけを比べて少ない方を誤答している児童が66.7%。

【課題2】 帯グラフから、割合の違いが一番大きい項目を選び、示された特徴をもった項目とその割合を記述する。(設問4(3)) データの活用
双方が多い項目のものと誤答している児童が20.8%。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】 速さ、道のり、時間の関係について繰り返し継続して指導する。見いだした式が成り立つかどうか確かめるよう指導する。

【課題2】 場面から数量の関係を捉えて除法の式に表すとき、その数字の意味や何について求めているのかを捉えて、見いだした式が成り立つかどうか、確かめるよう指導する。

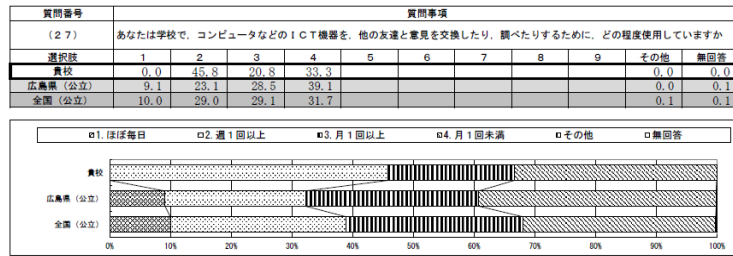
※ 小中一貫した取組については、日常的な事柄を数学的に解釈したり説明したりする場を設定する。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			5年生 4年復習テスト (学年末)	5年生 R1「全国学力」	4・5年生算数テスト (自校作成)	5年生 R3「全国学力」	4・5年生 学年末テスト
目標値			70%	70%	80%	70%	85%
実施後数値							
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	3～5年生 3年復習テスト (1学期たしかめ)	4・5年生 3年復習テスト (学年末)					
目標値	80%	80%					
実施後数値							

来年度に向けて

質問紙調査 (全国学力・学習状況調査：児童質問紙調査) (児童生徒学習意識等調査：児童質問紙調査)

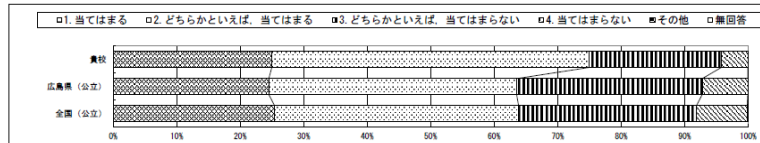
(1) 生活・学習



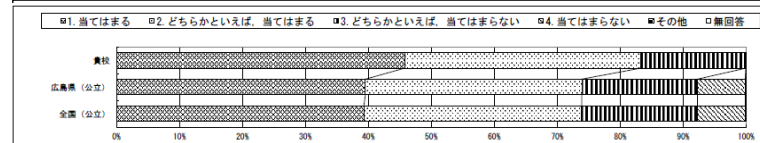
	児童の回答についての課題(現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
全国・学習意識等	「あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか」にほぼ毎日と答えた児童0% (県平均9.1%, 全国平均10.0%)	各教科において、ICT機器を活用する機会を定期的に設ける。他の友達と意見交換したり、調べたりするために使用する機会を増やしていく。	6	ほぼ毎日10.0%	児童アンケート調査	R4年2月	

(2) 教科

国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか。



算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか。



	児童の回答についての課題(現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
全国・学習意識等	「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか。」に当てはまると答えた児童25% (県平均24.5%)	各教科で、自分の考えを伝え合う機会を増やしたり、質問し合う場面を設けたりする。	6	あてはまる50%	児童アンケート調査	R4年2月	
全国・学習意識等	「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか。」に当てはまると答えた児童45.8% (県平均39.6%)	授業の中で、普段の生活と関連付けて導入を行ったり、活用できる場面がないか考える時間を取ったりする。	6	あてはまる50%	児童アンケート調査	R4年2月	